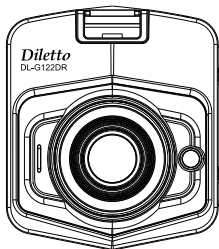


Diletto

ドライブレコーダー

DL-G122DR

取扱説明書



この度は、本製品をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。

本書(取扱説明書)をよくお読みの上、正しい接続・使用方法でお使いください。

お読みになった後は、保証書と一緒に大切に保管し、必要な時にお読みください。

microSDカードの取扱いについて

本機が起動中(通電中)の状態でのmicroSDカードの抜き差しをしないでください。

必ず、電源が入っていない事を確認してからmicroSDカードの抜き差しを行ってください。

電源を切らずにmicroSDカードの抜き差しをすると破損、データ消失の原因となる可能性があります。

事故発生時は事故時のデータ保存のため、電源を切ってからmicroSDカードを抜いて保管してください。

詳細については、本書P1の「microSD カードについて(重要)」を必ずお読みください。

保証書別添付

保証書は、「お買い上げ日」・「販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

目次

■microSDカードについて(重要)	1
■安全上のご注意(必ずお守りください)	3
■使用上のご注意(必ずお守りください)	6
■商品構成一覧表	7
■各部の名称と働き	8

■本体の取り付け	10
■microSDカードについて	14
■電源オン/オフについて	16

■録画について	17
■動画記録モード	19
■静止画撮影モード	23
■再生モード	26
■パソコンによる記録ファイルの読み出し	28
■録画時間について	29
■トラブルシューティング	30
■仕様	32

- 本書で使用しているイラストや画面例は、実際の製品と異なる場合があります。
- 接続、設置、配線等のイラストはイメージとなります。
- 各画面画像やビジュアルはハメコミ画面合成であり色および仕様等は実際の製品と異なる場合があります。
- 本書では、microSDHC や microSDXC カードを便宜上、「microSD」と表記しています。
- 実際の製品画面や機能は、性能や機能改善のため、予告なく変更する場合があります。

免責事項について

- お客様または第三者がこの製品の誤使用、使用中に生じた故障、そのほかの不具合またはこの製品の仕様によって受けられた損害については、弊社は一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- 本機は、自動車などの事故における証拠として、効力を保証するものではありません。
- 本機は、全ての状況下で録画を保証するものではありません。
- 本機の故障や使用による損害または録画データの破損や損傷によって生じた損害は、弊社は一切の責任を負いかねます。
- 車両のバッテリー上がりについて、弊社は一切の責任を負いかねます。
- LED方式の信号機は録画データがちらつく可能性があり、色の識別ができない場合があります。それにより生じた損害について、弊社は一切の責任を負いかねます。
- microSD カードの取扱には十分注意して、注意事項をよくお読みの上、使用してください。注意事項を守らずに発生したデータの損失や破損に関して、弊社は一切の責任を負いかねます。
- 付属品または専用別売品以外の機器やケーブル類および市販品の microSD カードを使用した場合による、本機の動作異常について、弊社は一切の責任を負いかねます。

microSDカードについて(重要)



本製品を使用する前は、必ず microSD カードをフォーマットしてください。
フォーマットしないとご使用できません。



安定してご使用いただくため、microSD カードを定期的にフォーマットしてください。
※推奨：2週間ごと

microSD カードのフォーマット操作方法については、
P.15 を参照してください。

microSD カードのフォーマットとは？

- フォーマットとは、microSD カード内のデータを初期化することであり、長期間 microSD カードをフォーマットせずに録画データを書き込み続けると、書き込みや読み込みのエラー（ファイルの断片化）が発生しやすくなります。
- フォーマットせずにお使い続けると、正常に録画ができなくなったり、microSD カードが認識できなくなる可能性があります。安定的にお使いいただくために、製品お買い上げ時および2週間ごと（推奨）に定期的なフォーマットをしてください。
- microSD カードのフォーマットは、本体設定の初期化（工場出荷設定）とは異なり、microSD カード内にある録画データのみを初期化（クリーンアップ）するものとなります
- microSD カードのフォーマットを行うと、全てのデータが消去されますので、ご注意ください

microSDカードについて(重要)







microSD カードを使う前に、次の内容を確認してご使用ください。

- 付属の microSD カードを使用してください。指定以外の microSD カードを使用されると、データの破損や記録ができない恐れがあります。
- microSD カードは消耗品ですので、定期的に新品への交換を推奨します。正常に使用していても、長期間使用すると、正常に記録できなくなる場合やカードエラーになり使用できなくなる場合があります。
- フォーマットしないままご使用されると、正しく録画ができない場合があります。
- フォーマットする際は、本機によるフォーマットをするか、パソコンでフォーマットをおこなってください。
- microSD カードに異常がある場合、本機でフォーマットができない場合があります。
- microSD カード自体の寿命で使用できなくなった場合、パソコンでも読み込みができなくなり、正常にご使用できなくなります。
- microSD カード内へ本機以外のデータを保存しないでください。正常に動作しなくなる場合があります。
- microSD カードをフォーマットすると、記録された内容等がすべて削除されます。予めパソコン等にバックアップすることをおすすめします。
- microSD カードの容量によっては、起動時間が変動する場合があります。
- microSD カードエラー発生時は、記録ファイルが復旧できない可能性があります。
- microSD カードを取り出す時には、車のエンジンを止めるか、またはシガーソケットからシガー電源アダプターを抜き、本体の電源をオフにした上、安全な場所に停車してから行ってください。
- 常時電源使用時も必ず本機の電源をオフにしたことを確認してから microSD カードの抜き差しを行って下さい。
- 思わぬ故障や破損等により、データが消失する可能性がありますので、定期的なデータのバックアップをおすすめします。
- 市販の microSD カードによっては、認識しない場合や挿入、取り外しにくい場合があります。
- 市販の microSD カードとの相性による動作不良については一切の責任を負いかねます。
- 市販の microSD カードについての仕様に関しては、microSD カードメーカーへお問い合わせください。
- 変形している microSD カードを使用するとエラー発生および故障の原因となります。
- 本体の動作温度が仕様外の場合、microSD カードが正常に動作しない場合があります。
- microSD カード自体に塗装やシール貼付されている場合は、ご使用できませんのでご注意ください。
- 本機は、8GB~32GB Class 10 の microSD カードに対応しています。ただし、全ての microSD カードの動作を保証するものではありません。市販品の microSD カードを使用した場合の動作不良に対しては保証対象外となります。
- microSD カードの消耗に起因する故障や損傷においては、弊社が保証するものではありません。
- あらゆる事象において破損、消失したデータの復旧サービス等はおこなっておりません。
- フォーマット作業による microSD カードの不具合修復を弊社が保証するものではありません。
- フォーマット作業による microSD カードのデータ消失やその他の損害が発生した場合、弊社は一切その責任を負いかねます。


安全上のご注意(必ずお守りください)

安全のため、必ずお守りいただくことを説明しています。
交通事故防止等安全確保のため、必ずお守りください。


 警告	人が死亡または重傷を負う危険を避けるために必ず守っていただきたい事項
 注意	人が軽傷を負う危険性や、物的損害を避けるために必ず守っていただきたい事項
 禁止	絶対にしてはいけない事項
 強制	必ず守るべき事項

警告


必ず規定容量のヒューズを使用する
また、交換は専門技術者に依頼する

-  規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災や発煙・発火、故障の原因になります。ヒューズの交換や修理は、ご購入店または弊社サービスセンターにご依頼ください。(ヒューズ:2A)


取り付けには車両の保安部品のボルト
やナットを絶対に使用しない

-  ステアリングやブレーキなどの保安部品のボルトやナットを使用して取り付けると、事故の原因になります。


取り付け・配線後は、車の電装品が正
常に動作することを確認する

-  車の電装品(ブレーキ、ライト、ホーン、ハザード、ウィンカーなど)が正常に動作しない状態で使用すると、火災や感電、事故の原因になります。


運転や視界を妨げたり、同乗者に危険
を及ぼす場所には、絶対に取り付けない

-  運転に支障をきたす場所(シフトレバー、ハンドル付近など)前方・後方の視界を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所への取り付けは、交通事故やけがの原因になります。

運転者は走行中に操作をしない、また
画像・表示を注視しない

-  走行中の操作や画像・表示の注視は、前方不注意による交通事故の原因になります。必ず安全な場所に停車し、サイドブレーキを引いた状態でご使用ください。

コード類は、運転や乗り降りの妨げにな
らないように引き回す

-  ステアリング・シフトレバー・ブレーキペダル・足などに巻き付かないように引き回し、まとめたり固定しておく等、配線処理をしてください。事故やけがの原因になります。

安全上のご注意(必ずお守りください)

車のパイプ類・タンク・電気配線などの位置を確認して取り付ける

! 車体に穴を開けて取り付ける場合は、パイプ類・タンク・電気配線に干渉や接触しないようにしてください。また、加工部のサビ止めや浸水防止の処置をしてください。火災や感電、事故の原因になります。

故障や異常のまま使用しない

⊘ 煙が出る、変なにおいがする等の異常な状態で使用すると発火などの原因となります。

●直ちに使用を中止して、お買い上げの販売店にご相談ください。

ステーなどの小物部品は、乳幼児の手の届くところに置かない

⊘ 誤って、飲み込むおそれがあります。万一飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

使用しないコードの先端などは、絶縁する

! 被覆がない部分が車の金属部に接触しないように、テープなどで絶縁してください。ショートにより火災や感電の原因になります。

指示に従って正しく配線・取付を行う

! 説明書に従って正しく配線・取付をしないと火災や事故の原因となります。

DC12V-24Vマイナスアース車で使用する。

! DC12V-24Vマイナスアースの車専用です。上記以外のお車には使用できません。火災や故障の原因となります。

分解や改造はしない

⊘ 内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因となります。

●内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。

機器内部に水や異物を入れない

⊘ 内部に金属物や燃えやすいものなどが入ると、動作不良になるばかりでなく、ショートや絶縁不良で発熱し、火災や発煙・発火、感電の原因になります。飲み物などがかからないようにご注意ください。

配線・取り付け作業中は、必ずバッテリーのマイナス ⊖ 端子を外しておく


! バッテリーのマイナス端子を繋いだまま配線・取り付け作業をすると、ショート事故による感電やけがの原因になります。

配線・取り付け/取り外しは、専門技術者に依頼する


! 取り付けと配線は、専門技術と経験が必要です。

安全上のご注意(必ずお守りください)


車載用以外には使用しない

-  車載用以外(例えばレジャーボートやアウトドアなど)に使用すると、発煙・発火、感電やけが、故障の原因になる場合があります。


コードをかみ込ませたり、引っ張ったり傷つけない

-  ショートや断線により、発火や故障の原因となることがあります。


高温になる場所などに取り付けない

-  直射日光やヒーターの熱風などが直接当たると内部温度が上昇し、火災や故障の原因になることがあります。


振動の多いところや不安定な場所に取り付けけない

-  傾いた場所、強い曲面などに取り付けると、走行中にはずれる・落下するなど、事故やけがの原因になることがあります。


本機の通風孔を塞がない

-  内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。


強い衝撃を与えない

-  落下させる、たたくなどして衝撃を与えると、故障や火災の原因になることがあります。


必ず付属品や指定の部品を使用する

-  指定以外の部品を使用すると、機器の内部を損傷したり、しっかりと固定できずにはずれるなど、事故や故障、火災の原因になることがあります。

水のかかる場所や湿気・ほこり・油煙の多い場所に取り付けけない

-  雨や洗車などで水がかかったり、湿気・ほこり・油煙などが入ると、発煙・発火、感電、故障の原因になることがあります。

感電の原因になるので、接触禁止


-  雷が鳴り出したら、シガー電源アダプターには触れないでください。感電の原因となることがあります。

使用上のご注意(必ずお守りください)


- 本機を使用中の交通事故、交通違反に関しては、一切の責任を負いかねます。安全運転をお心がけてください。
- 本機はすべての状況においての映像を記録することを保証するものではありません。
- 記録された映像やデータの損傷、破損による損害は、弊社は一切その責任を負いかねます。
- 本機は事故の証拠として、効力を保証するものではありません。
- 本機を取り付けたことにより、車両や車載品の故障、事故などの損害は、弊社は一切その責任を負いかねます。

注意


取り付け時はエンジンを切る

-  本機の実取り付けは、必ずエンジンを切った状態で行ってください。車両のキーがONの状態で行うと、感電及び故障の原因になります。


磁気性があるものに近づけない

-  本機の近くに磁気性があるものを置かないでください。本機の誤作動及び故障の原因になります。


画質が落ちることがあります

-  トンネル入出時のように、急に明るさや暗さに変化する、逆光が強い場合、夜等光源がないなどの条件では、録画画質が落ちることがあります。


信号機の色を認識できないことがあります

-  LED方式の信号機では画面がちらつきことがあります。また、色の認識ができないことがあります。


フロントガラスと本機レンズの表面をきれいにする

-  車のフロントガラスと本機レンズの表面をきれいにしてください。ほこりや異物による反射と屈折現象で、きれいに録画できない可能性があります。


microSDカード容量超えを注意する

-  本機は8GBのmicroSDカードを付属しています。緊急録画で記録された動画は、設定により上書きされない場合があります。

日本国内のみで使用する

-  本機は日本国内のみで使用できます。海外では使用できません。

TVやラジオ、GPSアンテナから20cm以上離してください。

-  各種車載機器やアンテナ等から本機を20cm以上離して設置してください。誤動作及びノイズ発生の原因をなすことがあります。

商品構成一覧表

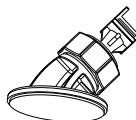
本機を使用する前に、必ず同梱物を確認してください。



■ドライブレコーダー本体



■シガー電源アダプター(約4m)



■取付ステー



■USBケーブル



■microSDカード8GB
(本体に装着)



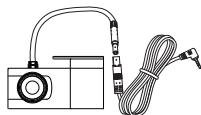
■リセットピン



■取扱説明書



■保証書



■リヤカメラ/延長ケーブル(5.5m)
※オプション別売品

⚠ 使用上のご注意

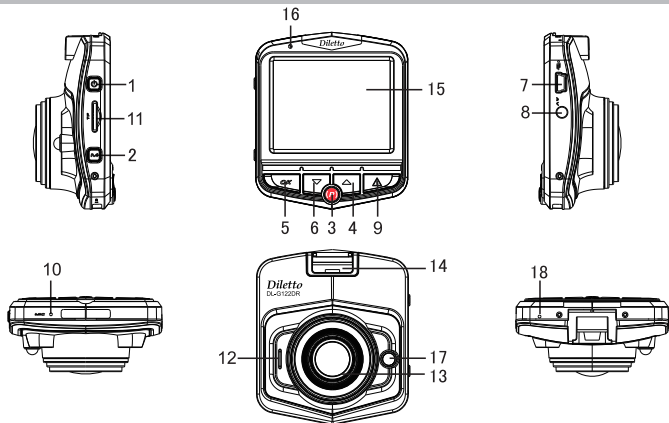
1. シガーアダプターについて

- 付属のシガーアダプターは車のシガーソケットに直接接続してください。シガーソケットを分岐させたアダプターには接続しないでください。火災や故障、誤作動の原因になることがあります。
- 長期間本機を使用しない場合、シガーアダプターを車のシガーソケットから抜いてください。火災やバッテリー上がりの原因となります。

2. 取付ステーの使用について

- 付属の取付ステーは運転に支障をきたさない位置、またエアバッグなどの安全装置の動きを妨げないようにお取り付けください。
- ステーを取り付ける前に、フロントガラスの表面をきれいにしてください。ほこり・異物は両面テープに影響があり、落下・脱落する恐れがあります。

各部の名称と働き



1.電源ボタン

長押しすると、電源がオンになります。

電源が入っている状態で長押しすると、電源がオフとなります。

2.MENUボタン

録画停止中に短押しすると各モードの設定メニューに切り替えます。


メニュー中に再度押下すると元の画面に戻ります。

※録画中はMENUボタンが動作しません。録画を停止してから動作します

3.駐車監視ボタン

動画記録モードで、押下すると駐車監視機能をオン/オフに切り替えることができます。

オン:画面上に「P」マークが表示されます

オフ:画面上に「」マークが表示されます

4.カーソル(▲)/表示切り替えボタン

表示画面の切り替えまたはカーソルの移動を行います。

表示画面切り替えは以下の通りとなります。

リヤカメラワイド画面→2画面→フロントカメラ画面→リヤカメラ画面→リヤカメラワイド画面→…
※別売品のリヤカメラが接続されていない場合、表示切り替えせず、フロントカメラ画面固定となります
※表示画面を切り替えても再起動すると、リヤカメラワイド画面に戻ります

5.OKボタン(確認ボタン)

- ・設定メニュー : 項目や設定値を決定します
- ・動画記録モード : 録画開始/停止します
- ・静止画撮影モード : 静止画撮影をします
- ・再生モード : 動画を再生/停止します

各部の名称と働き(つづき)

- 6.カーソル(▼)/マイクオン・オフ切り替えボタン
カーソルの移動を行います。
マイクのオン/オフを切り替えます。

- 7.miniUSB接続端子
付属のシガー電源アダプターと接続します。

- 8.リヤカメラ入力ポート
別売品のリヤカメラを接続することができます。
リヤカメラのケーブルを接続すると、自動的にワイプ画面を表示します。
※リヤカメラが接続されていない状態かつ録画中、リヤカメラを接続すると、フロントカメラおよびリヤカメラの録画がリスタートされます。

- 9.MODE/(▲)ボタン
録画中に押すと、緊急録画が開始されます。
録画停止中に押すと、以下の各モードに切り替わります。



:動画記録モード



:静止画撮影モード



:再生モード

- 10.マイク

- 11.microSDカード挿入口

- 12.スピーカー

- 13.レンズ

※工場出荷時は、レンズに保護フィルムが貼られていますので、ご使用の際は剥がしてください

- 14.ジョイントレール

- 15.液晶モニター

- 16.LEDインジケーター

- 17.赤外線ライト

- 18.リセットボタン

本体が正常に動作しなくなった場合、このボタンをリセットピンで押すと、本体が再起動します

取り付け

取付ステーを使って、車に本機を取り付けます。

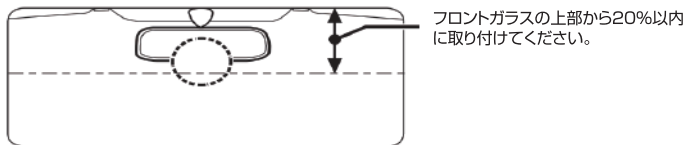
取り付け上のご注意：本機を取り付ける前に以下の内容をご確認のうえ、取り付けてください。

- 道路交通法及び関連する法令・規定類に抵触しないよう正しく取り付けてください。
- 車に取り付ける際には、運転の妨げとなる場所には取り付けないでください。
- 視界の妨げにならないように取り付けてください。
- フロントガラスの上部 20%の範囲以内に取り付けてください。
- 同梱品の取付ステーは両面テープで固定されます。一度取り付けたら取り外しが難しくなります。ご注意ください。
- 同梱品のシガー電源アダプター以外のものを使用しないでください。
- ルームミラーの操作に干渉しない場所へ取り付けてください。
- 車検証ステッカー等に重ならないように取り付けてください。
- 本機は防水構造ではありません。雨などで本機やシガー電源アダプターが濡れないようご注意ください。
- ワイパーの拭き取り範囲以内に取り付けてください。降雨時など鮮明に記録できます。
- シートベルトやエアバッグなどの安全装置の動きを妨げる場所には、取り付けないでください。事故の際に、安全装置が動かず、けがの原因となります。

推奨取り付け位置(参考)

取り付け位置(正面)

(1) ルームミラーの後部、フロントガラスの中央に設置すると、最適な映像を録画できます。



※カメラレンズが、サンシェードや黒セラドットパターン、黒セララインにかからないように注意してください。

(2) ルームミラーの後部、フロントガラスの中央に設置できない場合は、ルームミラーの左、もしくは右側にも設置することができます。

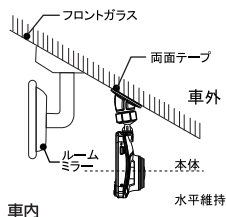
※中央部に設置できない場合、録画映像が片方に寄る可能性があります。



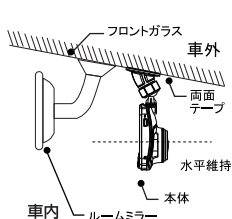
取り付け(つづき)

取り付け位置 (側面図)

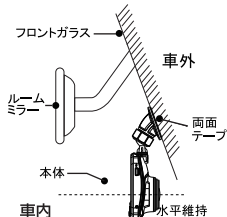
■ 一般的な乗用車



■ フロントガラスが寝ている車



■ ワンボックスやトラックなど

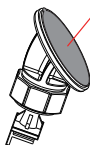


- ・ 図のように前方を遮ることがないように取り付けてください。
- ・ 本機が取り付けられた状態で、図のように本体が水平を維持するように取り付けてください。
- ・ 図のように水平が維持できていないと、正しい状態で録画できません。

取り付け方法

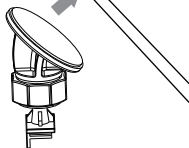
1. ステーを取り付ける場所を選び、その場所の汚れや油などをきれいに取除いてください。

保護フィルムを剥がす



2. ステーの両面テープから保護フィルムを剥がして、フロントガラスに取り付けてください。

フロントガラス



- ※ 固定力を強くするために、本体を取付後 24 時間以上放置してから使用してください。
- ※ 貼り直しはテープの粘着力が弱まり、脱落する恐れがあります。

取り付け(つづき)

3. ステーを本体のジョイントレールに合わせて
本体を矢印の方向にスライドさせて、
本体を装着します。

※取り付けステーのジョイント部の向きに注意して、
奥まで確実に装着してください。
確実に装着していないと、走行中に落下する
恐れがあります。

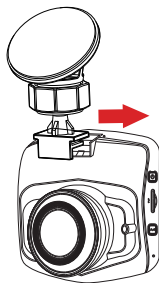


4. 車の進行方向に本体の角度を調整して
ください。

※取り付けステーのジョイント部に対して、
無理な力を入れないでください。
破損することがあります。

取り外し方法

ステーから本体を取り外す時には、
本機を矢印の方向にスライドさせてください。



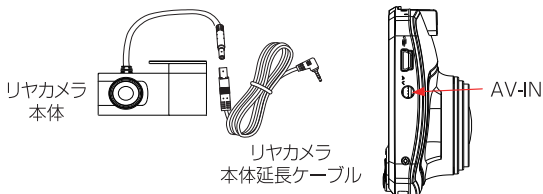
取り付け(つづき)

別売品リヤカメラ取り付け方法

1. リヤカメラ (別売品) を接続する

リヤカメラ端子を本体の AV-IN ポートへ接続します。

※接続する際は、本体の電源がオフの状態で行ってください
電源が入っている状態で接続すると、故障の原因となります



2. カメラの位置を確認する

取り付けたい位置に合わせてカメラの角度を調整します。

3. ブラケットを後部ガラスに貼り付ける

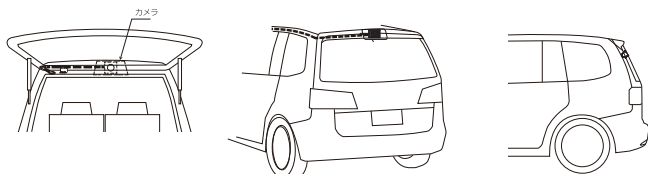
カメラの角度を調整した後、貼り付ける面の汚れや油分を取り除き、乾燥させた後に両面テープでしっかりと後部ガラスに貼り付けます。

4. ケーブルを配線する

バックドアやトランクをゆっくり開閉して、配線が挟まれていないかを確認します。

本体およびケーブルに損傷ができると、カメラ内部やケーブルに湿気や水が侵入し、破損や火災の原因となる可能性があります。

※本体やケーブル、リヤカメラ等は防水仕様ではありませんので、ご注意ください



※上記イラストでは車内の上部を配線していますが、車種によっては、取り回しにより車内下部や内張内などに配線する必要があります

- ・車種によっては、指定の位置に取り付けることができない場合があります
- ・取り付け位置によって、太陽光などの光の反射の影響を受けやすくなる場合があります
- ・取り付けの際は、適切な位置を確認しながら取り付けを行ってください
- ・取り付けの際は、液晶画面で映像が上下逆さまになっていないかを確認してください

microSDカードについて

microSDカードの挿入と取り外し

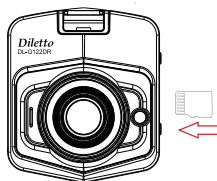
1. microSD カードを挿入する前に、必ず本機の電源がオフになっていることを確認してから行ってください。

※本機動作中、microSD カードの挿入・取り外しをすると、データの破損、本機の故障の原因になる恐れがあります。

LED インジケーターが点灯していないことを確認してください。



2. microSD カードの向きに注意してスロットに差し込んでください。



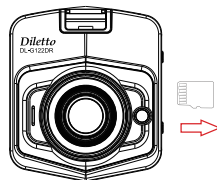
3. microSD カードが内部に確実に差し込まれたことを確認してください。

※カチッと音がするまで差し込んでください。

4. microSD カードを取り出す時は、カードを押し込み、カードが少し飛び出してから引き抜きます。

※microSD カードを取り出す前に、必ず本体の電源をオフにしてください。

※事故発生時に記録された映像データが壊れないように必ず本体の電源をオフしてから microSD カードを抜いて保管してください。



microSDカードについて

microSDカードのフォーマット

本機に付属されている microSD カードの容量は 8GB となります。
microSD カードの容量上限に達した際、microSD カード内の空き容量を確保するか、
microSD カードをフォーマットする必要があります。
(フォーマットの場合、すべてのファイルが削除されます)

microSD カードをフォーマットするには、下記の手順が必要となります。
※microSD カードをフォーマットする前に、重要なデータは必ずバックアップしてください。

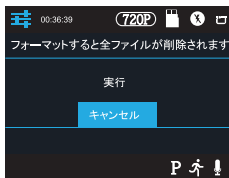
1. 同梱されている microSD カードが挿入されていることを確認してください。
2. 車のエンジンをオン (ACC ON) にして、本体を起動します。
3. 一般設定メニュー

録画中の場合は、「OK」ボタンを押して録画を
停止してから、「MENU」ボタンを押してください。
録画中は設定メニューに入ることができません。
※「一般設定メニュー」画面に入ってから、
再度、「MENU」ボタンを押すと動画記録モードに戻ります



4. フォーマットを実行します。

一般設定メニュー画面から「フォーマット」項目の
「実行」を選択した後、「OK」ボタンを押すとフォー
マットが開始されます。
※フォーマットが完了すると、一般設定メニューに戻ります
※この時に「MENU」ボタンを押すと、動画記録モードに戻ります
※動画記録モードで「OK」ボタンを押すと録画を開始します

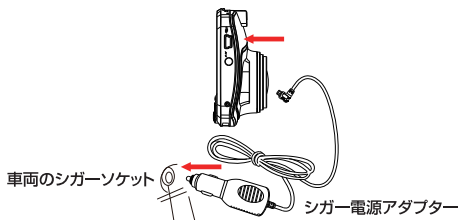


電源オン/オフについて

電源オン

- ①同梱品の本体、シガー電源アダプターを接続し、車両のシガーソケットに奥まで差し込んだ状態で、エンジンをかけると自動的に本体の電源がオンになり、オープニング画面が表示されます。

※同梱しているシガー電源アダプターをご使用ください



●エンジン連動ON機能について

本製品は、取り付け車両のバッテリー電圧のコンディションや配線の取り回しによって、車のエンジンを始動した場合、エンジン連動で起動しない場合があります。また、本体の内蔵バッテリーの充電状態（空もしくは充電不足）により、正しく動作しない場合があります。

その場合、本体側の電源ボタンで電源を入れてください。また、充電不足または長期間、本製品をご使用にならなかった場合は通電を行い、充電するようにしてください。

●アイドリングストップ車での電源OFFについて

アイドリングストップ車で本製品をご使用される場合、車両のバッテリー電圧のコンディションによって、アイドリングストップ状態からエンジン始動のタイミングで電源がオフとなる場合があります。その場合、本体側の電源ボタンをで電源を入れてください。

電源オフ

- ①車のエンジンをオフにすると、本機は自動的に約 5 秒後に電源がオフになります。

※本体の充電状態によるため、5 秒以内にオフとなる場合があります

- ②本体の電源ボタンを約 2 秒以上長く押しと、電源がオフになります。

オートオフ

内蔵バッテリーで動作している場合、録画停止中または設定時間内にボタン操作を行わないと、本体の電源が自動的にオフとなります。

録画について

録画の種類(録画方法)

●ループ録画(常時録画)

本機の設定により、1分間/2分間/3分間のループで録画します。
ループ録画は、1分間/2分間/3分間単位で続けて録画します。
microSDカードの容量を超えると、古いファイルから順番に上書きされます。

1ファイル	1ファイル	1ファイル	1ファイル	1ファイル	録画継続...
-------	-------	-------	-------	-------	---------

●緊急録画

1. 緊急録画方法

録画中に緊急録画ボタン[△]を押すもしくは本機に搭載されているGセンサーが衝撃を感知すると、緊急録画モードで録画を開始します。
緊急録画を開始すると、液晶モニター上部に[📍]マークが表示されます。



2. 緊急録画形式

緊急録画開始時点により、ロックされる録画ファイルが異なります。

例)

- ・ループ録画ファイルのループ録画設定を[1分間]に設定している場合、動画①→②→③・・・と録画が継続されます
- ・動画②で事故発生時、緊急録画が開始されます
- ・★マークは、緊急録画の開始ポイント



事故発生

録画について(つづき)

★1

動画②の最初から 10 秒以内に事故が発生し、緊急録画が開始されると、動画①と動画②がロックされます。

★2

動画②の最初・最後の 10 秒以外に事故が発生し、緊急録画が開始されると、動画②がロックされます。

★3

動画②の最後の 10 秒以内に事故が発生し、緊急録画が開始されると、動画②と動画③がロックされます。

3. 緊急モードで記録されたファイル

緊急録画のファイルは microSD カード内の容量が上限に達した場合、上書きされません。

※ループ録画ファイルは古いファイルから上書きされます

記録されたデータ例

名前	更新日時	サイズ	属性
VID_023	2021/03/17 8:48	84,601 KB	A
VID_025	2021/03/17 10:21	31,260 KB	A
VID_026	2021/03/17 10:23	31,260 KB	A
VID_027	2021/03/17 10:31	31,260 KB	A
VID_030	2021/03/17 10:33	88,446 KB	A
VID_031	2021/03/17 10:34	88,848 KB	A
VID_024	2021/03/17 10:20	84,944 KB	RA
VID_028	2021/03/17 10:31	31,260 KB	RA
VID_029	2021/03/17 10:32	88,460 KB	RA
VID_032	2021/03/17 10:35	84,578 KB	RA

※Windows/パソコンの「詳細表示の設定」で属性を表示させることができます

4. 緊急録画完了

緊急録画が終了すると、液晶モニターの [📷] マークが消去され、ループ録画に戻ります。

⚠️ ご注意

- 「緊急」とは、本機が衝撃を感知した場合という意味になります。
- G センサーが [ソフト] に設定されている場合、衝撃が検出しやすくなります。
G センサーが [ハード] に設定されている場合、強い衝撃のみ検出します。
- 緊急録画で記録されたファイルは上書きされません。
- microSD カードに緊急録画ファイルが多く保存されている場合かつ microSD カードの容量が上限に達した場合、録画ができなくなりますので、保存の必要があるデータは、定期的にパソコンへコピーしてから、microSD カードをフォーマットして空き容量を確保してください。
- G センサーや動体検知、駐車監視機能はフロントカメラが検知します。リヤカメラは検知機能が働きません。動作が働いた場合、リヤカメラが接続されている場合に限り、フロントカメラ、リヤカメラそれぞれ録画を行います。

動画記録モード

動画記録画面

1. 液晶モニター

2. 露出補正アイコン

3. ループ録画モードアイコン

1分間 / 2分間 / 3分間の設定表示をします。

4. モードアイコン

動画記録モードのアイコンを表示します

5. 録画中アイコン

録画中は点滅表示をします。
また、録画時間を表示します。

6. 緊急録画アイコン

緊急録画中、アイコン表示します。

7. 解像度アイコン

映像記録の解像度表示します。

8. microSD カードアイコン

microSD カードの挿入状態を表示します。

オン時:



オフ時:



9. 赤外線ライトアイコン

赤外線ライトのオン / オフ状態を表示します。

オン時:



オフ時:



10. 電源アイコン

通電中点滅表示をします。

11. カメラアイコン

- ・フロントカメラ=F
- ・リヤカメラ=B

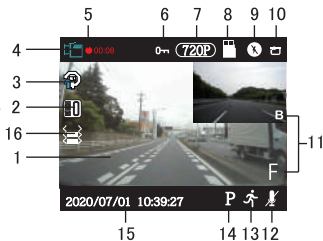
12. 音声録音アイコン

Voice Record の状態を表示します。

オン時:



オフ時:



動画記録モード(つづき)

13. 動体検知アイコン

Motion Detect をオンに設定した場合、アイコン表示されます。

録画停止中に動体検知すると自動的に録画開始され、10 秒後に自動的に録画が停止されます。

また、動体検知が作動検知が作動している間は録画が継続されます。

※動体検知の機能はフロントカメラのみ働きます

※リヤカメラによる動体検知は働きません

14. 駐車監視アイコン

駐車監視機能のオン / オフ表示をします。

オン時: P

オフ時: 

15. 日付・時刻表示

本機に設定された日付と時刻を表示します。

16.G-Sensitivity アイコン

G センサーの状態を表示します。

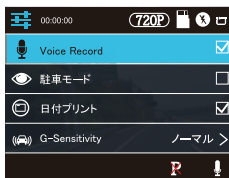
バーが 3 つの場合、高感度となります。

※G センサーによる衝撃感知は、フロントカメラのみ働きます

※リヤカメラによる衝撃感知は働きません

動画記録モードの設定

録画停止中、本体の [MENU] ボタンを押すと、設定メニューが表示されます。



動画記録モード(つづき)



項目	設定値	説明
解像度	720P	録画ファイルの解像度を 1280×720 に設定します (※3)
	WVGA	録画ファイルの解像度を 800×480 に設定します (※3)
ループ録画	1分	録画ファイルのループ記録時間を設定します。
	2分	
	3分	
露出補正	-2~+2	露出補正を設定します (設定値: -2/-1/0/1/2)。
動体検知	<input checked="" type="checkbox"/> ON	<p>動体検知機能を使用する・しないを設定します。(※1、2)</p> <p><動体検知機能について></p> <ul style="list-style-type: none"> ・動体検知機能は、動画記録モードのみ使用可能です ・動体検知機能は、本機に電源を入れてから動画記録モードのスタンバイ状態時のみ使用可能です ・動体検知機能は、起動してから 10 秒間録画します。10 秒以内に続けて動体検知ができなければ、録画を停止します。
	<input type="checkbox"/> OFF	
Voice Record	<input checked="" type="checkbox"/> ON	映像と音声を記録します。
	<input type="checkbox"/> OFF	映像のみを記録します (音声は録音されません)。
駐車モード	<input checked="" type="checkbox"/> ON	駐車中、本体の電源がオフの状態では衝撃を感知すると、自動的に電源がオンとなり、録画を開始します。
	<input type="checkbox"/> OFF	
日付プリント	<input checked="" type="checkbox"/> ON	映像ファイルに日時を記録する・しないを設定します。
	<input type="checkbox"/> OFF	
G-Sensitivity	オフ	<p>G センサーの感度を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハード：強い衝撃のみに反応します ・ソフト：弱い衝撃も反応します
	ソフト	
	ノーマル	
	ハード	

※1 エンジン OFF 時に本機能を動作される場合は、長時間録画用のバッテリー接続ケーブル「DRC-3S」(別売)をお求めください。また、12 車対応であり、24V 車では使用できません

※2 動体検知の機能はフロントカメラのみで機能します
オプション品のリヤカメラが接続された場合、リヤカメラによる動体検知は作動しません

※3 リヤカメラを接続した場合、リヤカメラの動画解像度は 640×480 固定となります

動画記録モード(つづき)

項目	設定値	説明
ボタン音	<input checked="" type="checkbox"/> ON	ボタンの操作音を設定します。
	<input type="checkbox"/> OFF	
日付 / 時刻	—	初期設定値：2022/07/01 [▲] ボタンで日時の数字をアップします [▼] ボタンで日時の数字をダウンします [OK] ボタンで設定した項目を保存します
Auto Off	オフ	内蔵バッテリーで動作する場合、録画停止中に設定時間内にボタン操作をしないと、本体の電源が自動的にオフになります。
	30 秒	
	1 分	
	2 分	
表示言語	簡体字中国語	本機メニューの表示言語を設定します。
	繁体字中国語	
	English	
	日本語	
フリッカレス	50Hz	東日本地域は 50Hz に設定してください 西日本地域は 60Hz に設定してください ※記録撮影時に蛍光灯のチラつきを抑えます
	60Hz	
赤外線ライト	オフ	夜間撮影時の赤外線による補助を設定します。
	オン	
	Auto	
液晶 OFF	オフ	設定された時間が経過すると、自動的に液晶を OFF します。
	10 秒	
	30 秒	
	1 分	
フォーマット	実行	microSD のフォーマット行います。
	キャンセル	※フォーマットする前に重要なデータはパソコンへバックアップしてください
初期化	実行	全ての設定を工場出荷設定値に戻します。
	キャンセル	
バージョン	—	本機のバージョンを表示します。

静止画撮影モード

静止画撮影画面

静止画撮影モードへの入り方

録画停止中に [MODE] ボタンを押すと、静止画撮影モードに切り替えることができます。液晶モニターで被写体を確認してから、[OK] ボタンを押すと、撮影をすることができます。
※静止画撮影は、液晶画面に表示されているフロントカメラもしくはリヤカメラどちらか一方の撮影となります

1. 液晶モニター

2. ホワイトバランスアイコン

3. 露出補正アイコン

4. モードアイコン

静止画撮影モードのアイコンを表示します。

5. 撮影枚数アイコン

撮影可能枚数を表示します。

6. カメラアイコン

撮影しているカメラを表示します。

- ・フロントカメラ：F
- ・リヤカメラ：B

7. 解像度アイコン

静止画撮影の解像度を表示します。

8. microSD カードアイコン

microSD カードの挿入状態を表示します。

オン時：



オフ時：



9. 赤外線ライトアイコン

赤外線ライトのオン / オフ状態を表示します。

オン時：



オフ時：



10. 電源アイコン

通電中、点滅表示します。

11. 駐車監視アイコン

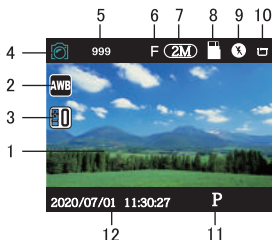
駐車監視機能のオン / オフを表示します。

オン時： P

オフ時： 

12. 日付・時刻表示

本機に設定された日付と時刻を表示します。



静止画撮影モード(つづき)

静止画撮影モードの設定

静止画撮影モードで [MENU] ボタンを押すと、静止画撮影モードの設定メニューが表示されます。



項目	設定値	説明
解像度	2M	静止画ファイルの解像度を 1920×1080 に設定します。(※1)
	1.5M	静止画ファイルの解像度を 1600×912 に設定します。(※1)
	1M	静止画ファイルの解像度を 1280×720 に設定します。(※1)
ホワイトバランス	Auto	ホワイトバランスの設定をします。
	晴天	
	曇天	
	タングステン 蛍光灯	
露出補正	+2~-2	露出補正値を設定します。(設定値=2/1/0/-1/-2)
日付プリント	<input checked="" type="checkbox"/> ON	画像ファイルに日時を記録する・しないを設定します。
	<input type="checkbox"/> OFF	

※1 リヤカメラを接続した場合、リヤカメラの動画解像度は640×480固定となります

静止画撮影モード(つづき)

項目	設定値	説明
ボタン音	<input checked="" type="checkbox"/> ON	ボタンの操作音を設定します。
	<input type="checkbox"/> OFF	
日付 / 時刻	—	初期設定値：2022/07/01 [▲] ボタンで日時の数字をアップします [▼] ボタンで日時の数字をダウンします [OK] ボタンで設定した項目を保存します
Auto Off	オフ	内蔵バッテリーで動作する場合、録画停止中に設定時間内にボタン操作をしないと、本体の電源が自動的にオフになります。
	30 秒	
	1 分	
	2 分	
表示言語	簡体字中国語	本機メニューの表示言語を設定します。
	繁体字中国語	
	English	
	日本語	
赤外線ライト	オフ	夜間撮影時の赤外線による補助を設定します。
	オン	
	Auto	
液晶 OFF	オフ	設定された時間が経過すると、自動的に液晶を OFF します。
	10 秒	
	30 秒	
	1 分	
フォーマット	実行	microSD のフォーマット行います。
	キャンセル	※フォーマットする前に重要なデータはパソコンへバックアップしてください
初期化	実行	全ての設定を工場出荷設定値に戻します。
	キャンセル	
バージョン	—	本機のバージョンを表示します。

再生モード

再生モード画面

再生モードへの入り方

静止画撮影モード中に [MODE] ボタンを押すと、再生モードに切り替えることができます。再生モードでは、記録された動画・静止画ファイルを確認することができます。

再生モード画面



記録ファイル再生/表示中の画面



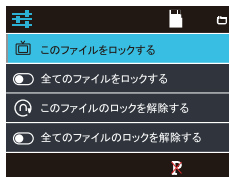
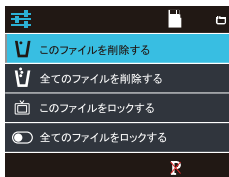
1. 表示モードアイコン
動画 / 静止画を表示します。
2. 保護アイコン
保護（ロック）されたファイルを表示します。
3. microSD カードアイコン
4. 電源アイコン
通電中は点滅表示します。
5. 解像度表示
動画や静止画の解像度を表示します。
6. 液晶モニター
7. 日付・時刻表示
動画や静止画を撮影した日時を表示します。
8. 駐車監視アイコン
駐車監視機能のオン / オフを表示します。
9. ファイル切り替えアイコン
カーソルボタンで前 / 次のファイルに切り替えます。
※動画再生中にカーソルボタンを押すことにより、2倍、4倍で早戻し / 早送りができます
※「▲」ボタンの長押しでFとBのファイル切り替え
10. ストップアイコン
動画再生中、「▲」ボタンを押すと、再生を中止します。
11. 再生 / 一時停止状態表示
動画再生中に [OK] ボタンを押すと、再生 / 一時停止を切り替えます
12. ファイル名表示
動画や静止画のファイル名を表示します。
13. 再生時間
再生している動画の進行時間を表示します。
14. カメラアイコン
再生しているカメラを表示します。
※フロント=F / リヤカメラ=B

再生モード(つづき)

再生モード設定

再生モード設定への入り方

再生モード中に、本機の [MENU] ボタンを押すと、再生モードの設定メニュー画面が表示されます。



項目	設定値	説明
削除	このファイルを削除する	選択されたファイル / 全ファイルを削除します。
	全てのファイルを削除する	
保護	このファイルをロックする	選択されたファイル / 全ファイルをロックします。
	全てのファイルをロックする	※保護できるファイルは動画ファイルのみです
保護解除	このファイルのロックを解除する	選択されたファイル / 全ファイルのロックを解除します。
	全てのファイルのロックを解除する	

パソコンによる記録ファイルの読み出し

本機で記録したファイルをパソコンで確認（読み込み）することができます。

※対応 OS : Windows 8/10

※全てのパソコンについて動作を保証するものではありません

※パソコンの処理能力や環境等により、正しく再生されなかったり、期待した動作にならない場合があります

※ご使用のパソコンの設定については、説明内容と異なる場合があります

（パソコンの操作については、パソコンメーカーへお問合せください）

microSD カードをパソコンで読み取る

1. 本機の電源をオフにしてください。

※電源オンの状態で microSD カードを取り外すと、本機とファイル破損の恐れがあります

2. microSD カードを取り出し、カードリーダー等を使用してパソコンと接続してください。

※microSD カードのカードリーダーは付属しておりません

※microSD カードは大切に保管、取り扱いってください

※再度、本機を使用する前には、microSD カードを本機に挿入してください

3. パソコン上で microSD カードを開き、「DCIM」フォルダを開きます。

※「DCIM」フォルダ内の「1」は、フロントカメラ映像

※「DCIM」フォルダ内の「2」は、リヤカメラ映像

4. 再生したいファイルをダブルクリックして、Windows 標準の Windows Media Player で再生することができます。

本製品で記録された動画をパソコンで再生する際、パソコンの性能や OS により、スムーズに再生できない場合があります。その際は、「VLC media player」での動画再生ソフトを推奨します。

本体を直接パソコンと接続する

本機を直接パソコンに接続することができます。

1. USB ケーブルで本機とパソコンを接続してください。

約 1 秒後に下図の画面が表示されます。

2. 本機の [OK] ボタンで「Storage」を選択すると、自動的に外部ストレージが開きますので、「DCIM」フォルダを開いてください。

※「DCIM」フォルダ内の「1」は、フロントカメラ映像

※「DCIM」フォルダ内の「2」は、リヤカメラ映像

※ご使用の環境により自動的に外部ストレージが開かれない場合があります

3. 再生したいファイルを選択して、再生します。



録画時間について

本機で使用する microSD カードの容量により、記録時間が異なります。

※フロントカメラのみの場合

microSD カード容量	WVGA (800×480)		720P (1280×720)	
	フロントのみ	フロント+リヤ	フロントのみ	フロント+リヤ
8GB	約 120 分	約 60 分	約 55 分	約 40 分
16GB	約 235 分	約 110 分	約 120 分	約 80 分
32GB	約 465 分	約 230 分	約 250 分	約 160 分

※「フロント+リヤ」表記の数値は、別売のリヤカメラを接続した場合の記録時間

- 本機は、8GB 以上、32GB 以下の microSD カードに対応します。
- Class6～10 の microSD カードを使用してください。
- 上記の記録時間は理論値（目安）となります。
- 被写体や環境により、記録可能な時間と件数、データサイズに変化が生じます。

トラブルシューティング

本機をご使用時、万が一不具合が生じた場合、修理に出す前にまず下記の項目をご確認ください。下記の項目を試しても改善されなかった場合は、販売店またはサービスセンターまでお問合せください。

こんなとき	原因	対処方法
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> ・本機の電源はオンになっていますか？ ・シガー電源アダプターが外れていませんか？ ・ヒューズが切れていませんか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ・本機電源をオンにしてください ・シガー電源アダプターを差し込んでください ・ヒューズを交換してください（2A）
誤動作する	—	<ul style="list-style-type: none"> ・本機のリセットボタンを押してください ・本機を再起動してください ・再起動またはリセットをしても改善しない場合は、電源をオフにして挿入している microSD カードに保存されているデータをバックアップしてから、フォーマットしてください。
液晶画面に輝点がある	液晶パネルの特性です。不良ではありません。 (有効画素数 99.99%)	—
録画ができない	<ul style="list-style-type: none"> ・ microSD カードが本体に挿入されていますか？ ・ microSD カードの容量をこえていますか？ ・ microSD カードエラーが発生していませんか？ ・ 動画記録モードに切り替わっていますか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ microSD カードが本体に挿入されていることを確認してください。 ・ 「SD カードがいっぱい!」と表示された場合は、電源をオフにして、microSD カード内のデータをバックアップした後、フォーマットしてください。 ・ 対応している microSD カードに交換してください。 ・ 動画記録モードに切り替えてください。
他の車載器に影響が出る (テレビ等が映らない等)	高性能なハイビジョン画質チューナーを搭載している場合などは、テレビ受信やラジオ受信に干渉し、受信感度が低下する場合があります。また、ETC アンテナ付近に設置すると、誤動作する場合があります。	テレビ、ラジオ、ETC アンテナ等から 50cm 以上離して取り付けてください。 また、車両の各種センサー装置（安全運転支援装置、各種レーダー等）、防眩ミラー等がある場合は、それらの妨げとなる位置に設置しないでください。

トラブルシューティング

エラーメッセージ内容

エラーメッセージが表示された場合、以下の対処方法をご確認ください。

メッセージ内容	対処方法
SD カードを挿入してください!	microSD カードが挿入されていない場合に表示されます。 microSD カードを挿入してください。
フォーマット中	microSD カードのフォーマット中に表示されます。 フォーマット中は何も操作しないでください。
初期化中	本体初期化中に表示されます。 初期化中は何も操作しないでください。
ロックされたファイルです。 削除できません。	ロックされたファイルを削除しようとした時に表示されます。 削除する場合は、ロックを解除してください。
ファイルがありません!	記録された動画・静止画ファイルがない場合に表示されます。 録画や静止画撮影を行ってください。
SD カードいっぱい	microSD カードの容量がいっぱいになった時に表示されます。 不要なファイルを削除すると空き容量が増えます。
SD カードを フォーマットしてください	microSD カードが読み取れない時に表示されます。 microSD カードをフォーマットしてみてください。
バッテリー残量が少ない	本体の内蔵バッテリー残量が少ない時に表示されます。 本体の充電を行なってください。

フォーマットについて

長期間、microSD カードをフォーマットせず、録画データを書き込み続けると、ファイルの断片化が発生しやすくなります。定期的なフォーマット（microSD カードを初期化すること）をお勧めします。

※microSD カードについておよびフォーマットについては、P15 を参照してください

もしも事故が起きたら

事故発生時は、記録された録画ファイルが上書きされないように、必ず microSD カードを取り外して、安全な場所へ保管するようにしてください。

※事故発生時の参考資料として使用することができますが、事故の証拠として効力を保証するものではありません

<保管場所について>

microSD カードは精密電子部品となりますので、下記のような場所で取り扱い、保管をすると microSD カード内に保存されているファイルが破損する恐れがありますので、ご注意ください。

- ・ 静電気が発生する場所
- ・ 水に濡れたり、湿気が発生する場所
- ・ 衝撃を受ける場所（曲げ、折り含む）
- ・ 腐食性ガスが発生する場所

仕様

型番	DL-G122DR
商品名	ドライブレコーダー
ディスプレイ	2.31 インチカラー液晶
カメラレンズ	100 万画素カラー CMOS (F 値 : 2.6)
視野角 (画角)	水平 : 110° 垂直 : 63° 対角 : 136°
フレームレート	27fps
録画ファイル単位	1 分 / 2 分 / 3 分
動画解像度	720P (1280×720) WVGA (800×480)
静止画解像度	2MHD (1920×1080) 1.5M (1600×912) 1M (1280×720)
動体検知	オン / オフ
駐車監視	オン / オフ
音声録音	オン / オフ
G センサー (衝撃感知)	内蔵 (ソフト : 1.5G / ノーマル : 2G / ハード : 2.5G)
録画フォーマット	AVI
静止画フォーマット	JPEG
電源	DC12V-24V
内蔵電池	リチウムポリマー 200mA
消費電力	約 1.5W
本体寸法 (mm)	約 63 (W) × 72 (H) × 33 (D)
本体重量	約 58g (microSD カード含む)
保存温度	0℃~50℃
動作温度	-10℃~60℃
付属品	シガー電源アダプター (約 4m) × 1 USB ケーブル × 1 取り付けステー × 1 microSD カード (8GB) × 1 取扱説明書 × 1 保証書 × 1 リセットピン × 1

※紛失等による付属品の追加購入につきましては、お買い上げの販売店にご注文ください

※本機の仕様および外観は、改良のため、予告なく変更する場合がありますので、ご了承ください

※別売品のリヤカメラおよびリヤカメラ延長ケーブルの購入につきましては、お買い上げの販売店またはサービスセンターまでお問合せください

Diletto

販売元：**株式会社イノベティブ販売**

〒343-0003 埼玉県越谷市船渡68-8
innovativesale.co.jp/

お問い合わせはサービスセンターへ

▼電話でのお問い合わせ

048-970-5027 (通話料がかかります)

電話受付時間 平日 9:00～12:00、13:00～17:00
(土日祝祭日、弊社休業日は除く)

▼メールでのお問い合わせ

cs@innovativesale.co.jp